

浦安とみおか川柳会

八月例会結果

日時： 令和4年8月9日(火)
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、
 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

講師： 佐藤青樹

点数
 講師
 推奨
 課題「小粋」互選 講評*佐藤青樹

12 すれ違う傘をよけ合う江戸しぐさ 裕子

8 そば通のほどよく手繰りすする音 ひかる
江戸時代の路地裏の映画を見ているような句
 絵が見え、面白くできました

6 ノンアルで酔ったふりする割烹着 裕子

「ノンアル」は必要ないのでは。「割烹着」は誰？
参考：若女特酔ったふりしてしなだれる

「お先にと勘定すませ行く上司 順
粋な上司の心使いがよく分かる句

4 パナマ帽昭和の父のダンデイズム 裕子
お父様の遺品のパナマ帽姿の写真などを見ての感慨でしょうか

3 路地裏に三味の流れる神楽坂 勝
三味の音が聞こえてきそうな句

お転婆のはつぴ鯔背な夏神輿 ひかる
男勝りのお転婆娘の絵が見え、上手くできました

2 あか抜けてポチも驚く初帰省 和昭
絵が見え面白くできました。「ポチも驚く、初帰省」で決まり

「素性バラされる」はいかががでしようか
参考：粋がっつてもなまりにお郷見え隠れ

1 豆絞り祭法被の似合う孫 勝
孫の祭り装束に満足している祖父母の姿が見える句

三歳児歌う演歌の振りがいい みちえ
絵が見え、上手くできました

「さりげなく粋を振りまく影法師 和昭
さりげなく無言で粋な姿を見せる彼を影法師で表した上手い句

1 浴衣着て縁台で飲む月見酒 勝

絵が見える句ですが「浴衣：着て」「飲む：月見酒」重複
参考：縁台の浴衣の粋な月見酒

浴衣みて花火見上げて惚れ直す 智
句意はわかりませんが、三段切れのようでリズム感悪い

夏祭りいなせ姿の若い衆 みちえ
参考：大花火浴衣の妻に惚れ直す
 句意は分かりますが、余韻が欲しいのでは

合唱の耳の散歩としやれている 昇柳
参考：夏祭りいなせな彼にまた惚れる
 美しい合唱を耳の散歩とした楽しんでいるのでしようね

浴衣下駄粋なつもりがふらふらす しだれ
「浴衣」か「下駄」どちらかに絞る。「ふらふらす」に一考を

うなじみせ髪を束ねて艶やかに 智
参考：履き下ろす下駄にふらつく盆踊り
 句意は分かりますが、余韻が欲しいのでは

半纏で神輿を担ぐ若い君
参考：うなじみせ髪を束ねる四畳半

手洗いシャツアイロンかけずに粋に着る
半纏で神輿を担ぐ若い君

あかぬけネクタイ輝き美声出来
手洗いシャツアイロンかけずに粋に着る

ユニクロと見せない粋な身のこなし
あかぬけネクタイ輝き美声出来

胸のうち見せずに去った粋な君
ユニクロと見せない粋な身のこなし

藍染の浴衣着込んで蛭狩り
胸のうち見せずに去った粋な君

さすが銀座財布細って満足す
藍染の浴衣着込んで蛭狩り

小一時間飲んでお店を後にする
さすが銀座財布細って満足す

お疲れと夫労わる皿洗い
小一時間飲んでお店を後にする

コイン持ち毎週末にランドリー
お疲れと夫労わる皿洗い

課題「がっかり」二人選 真田宣子選

| | | | | | | | |
|---------------|---|---|---|---|---|---|--|
| 客 | 秀 | 軸 | 天 | 地 | 人 | 客 | 秀 |
| ロボットに伝統の技伝授する | 立ち話動かぬ影の夏の午後 近づきたい半歩づつでも君のもと お盆にはお墓で妻とデートする 露も中も平和の声に耳ふさぐ 掛け違うボタン何処かで合ってくる 蝉時雨ビルの谷間の空気換え | | | | | 見返りの期待裏切るバックシヤン 少子化に拍車をかける赤子遺棄 金運線あるのに金が寄りつかず さぞ美人マスク外して溜息に 洗濯機開けてびっくり花吹雪 楽しみが見えた矢先の第七波 その日まで夢を見させた太鼓判 若見えのファンデだけでは無理があり ドライヤーしている間に汗まみれ 時間かけ結果の出ない料理本 ちよつとだけうたた寝したら日が暮れた 食べかけのアイスが消える長電話 好きな子に好きな子がいた遠花火 | 和昭 和昭 順 智 ひかる 裕子 和昭 みちえ ひかる みちえ ひかる みちえ 裕子 |
| 勝 | 宣子 宣子 ひかる 裕子 みちえ みちえ | | | | | | |
| 自由吟 | | 塩見和昭選 | | | | | |
| | | Tシャツの似合わぬ背中になった君 似てきたと言われる母の歩き方 最後の恋まごの話で泡と消え | | | | | |

課題「がっかり」二人選 長谷川智選

| | | | | | | | |
|----------------|--|---|---|---|---|--|---|
| 客 | 秀 | 軸 | 天 | 地 | 人 | 客 | 秀 |
| 夏休み聞こえぬ子らとセミの声 | 会長の雑魚を蹴散らす咳払い 炎帝に夏草さえも頭垂れ いい話だけやって来る社長室 猛暑日の無事を味わう仕舞風呂 あの人の泡が飲みたいコマーシャル 生きている刹那の歓喜蝉時雨 | | | | | 家宝の絵鑑定すれば二千元 似てきたと言われる母の歩き方 地凶音痴象に会えなく孫泣かす 楽しみが見えた矢先の第七波 時間かけ結果の出ない料理本 仏壇に預けたメロン熟れ過ぎる 仏壇に預けたメロン熟れ過ぎる 若見えのファンデだけでは無理があり 好きな子に好きな子がいた遠花火 長身の男がじゃまなコンサート 食べかけのアイスが消える長電話 洗濯機開けてびっくり花吹雪 メル友に憧れ会って夢壊れ 少子化に拍車をかける赤子遺棄 | 勝 宣子 しだれ 裕子 みちえ みちえ 裕子 みちえ 裕子 みちえ 裕子 みちえ 裕子 和昭 |
| 裕子 | 順 しだれ 裕子 | | | | | | |
| | | さぞ美人マスク外して溜息に 停止線無視して通過肩落とす 受験先これまでやってまだだめか | | | | | |

例会のお知らせ
 日時 令和4年10月11日(火)
 13:00~16:00
 場所 富岡公民館
 課題 「命中」互選 :3句
 「見破る」二人選 :3句
 自由吟 :3句

「犬吠」8月号
 掲載会員句

一日を無言で終る反抗期(宣子)
 予定去り意気消沈の朝寝する(しだれ)
 最強の食事術読み食正す(昇柳)
 サラサラと日目の消えゆく砂時計(裕子)
 帰去来の竹馬の友は先に行き(和昭)
 デジタル化ついて行きますカタツムリ(順)
 二重橋世代の風に揺れている(勝)
 AIに熱中症を管理され(みちえ)

川柳いろいろ

没句

互選句（小粋）…続き

週末の作務衣姿の小粋な夫
小粋な人なんて今では死語となる
雑誌絵で小粋な姿覗き見る
男性の足の散歩としゃべっている

二人選句（がっかり）

超美人です喉仏見るまでは
効率クーラーがっちり葉茶無い失意
目をかけた部下は転職裏切られ
円安の細る日本立ち上がれ
スマホ買い右指紋駄目持ちぐさ
最後の恋まごの話で泡と消え
自販機が新五百円重く駄目
Tシャツの似合わぬ背中なつた君
見返りの期待裏切るバックシヤン
担当医突如の移動挫けそう

自由句

弱者助けるボランティアがんばるぞ
老いに勝つ生きがい増える幸福感
病氣してさらに強まる赤い糸
朝顔の風に揺られて涼を呼ぶ
バイト先時給の多寡で失敗し
続いている犬のお陰のウオーキング
宗教の教え唱えて金集め
今になり粕漬の味魅せられる
人を避け人に避けられこの夏も
昼休み風に吹かれに脱ぐ白衣
会話が言い訳のみでごまかされ
貴方より年上になり墓参る
ピアノ演奏を米寿の生きがいへ
回り見てマスク外して息をつく
気が付けば過去が未来を追い越した
砂時計減るほど増える夏休み

川柳の理論と実践

新家完司

五感による発見

1 眼だけでなく 五感を同時に働かせることは難しい。
「観察」となると簡単に多くの情報をキャッチできる
「眼」に頼りがちになる。聴覚や味覚、嗅覚や触覚に
よって得られる情報はさほど意識してないようです。
川柳の素材としてはまだまだ未開拓の分野であり新鮮
な素材がたくさんあります。

2 耳でつかむ

視覚を失った人は他の器官に神経を
集中するので感覚は鋭くなっていくのでしょう
見えた日とやっぱり違う雨の音

3 舌でつかむ

味の違いは、目が見える人にはわからない。
川柳の素材が数え切れぬ程あるということである
生きていくあかし七味がまだからい
涙の味と同じちりめんじゃこを食う
平熱に戻って酒は酒の味
鼻でつかむ ニオイも立派な句の素材になる

4 鼻でつかむ

焼芋が匂う大東京の夜
若葉の香老いて行く身が切なすぎ
牛蒡せんべいほんのり牛蒡の匂いする
良いニオイと自分の好きなニオイは「匂い」
嫌いなニオイは「臭い」と書き分ける

5 身体でつかむ

触覚は自分が接触しなければ感じる
ことはできないので対象が限られるが、他の人が
気づかない特異なものを発見できるかもしれぬ。
かぶと虫死んだ軽さになっている
赤ちゃんの手に触れ心癒される
なまの身には少し冷え過ぎ肉売り場

「ワンポイントアドバイス」

見つけたことは即座に記録する習慣を身につけましょう
・老眼鏡さがしている間に匂が消える

鑑賞 犬吠賞 平成三十年度

大賞

阿部けいこ

準賞

土井利一

新人賞

河原田美奈

佳作

思春期の昭和に忘れ物がある
どの仮面付けても寒い下り坂
神様が決めた明日を受け入れる
翔べる気のする新年の青い空
祖父一人無声映画の様に生き
過去未来その真ん中で米を研ぐ

五点

人間をマリオネットにする電波
カラフルな葉を飲んで今日も無事

四点

妻の皺こんなに多くした私
森を見る視線の先にある未来
メールより母のひらがな温かい
大人にはなれないままに高齢者
まだ傘寿第二楽章風になる
泣き伏せるつくえが一つ居間にある
正解のない問題へ挑む葦
割勘の酒は言いたい事を言う
老いるとは金平糖に角がない
ポケットにしまふ感電した握手
物忘れ老人力が満ちてくる
無添加の言葉こころに効くサプリ
耳はただ君の声だけ聞きたがり
何処へでも行けそう赤いスニーカー
砂浜の砂一粒の悩みごと
青空の長さを計る飛行機
銃には銃核には核の深い沼
笹舟に昔は話がのって来る

吉田君代

小田春奈

太田ヒロ子

野々宮光昌

神林洋右

桶谷康子

阿部章一

岡部正則

吉野千枝子

柴垣一

佐藤公江

河原田奈美

羽生田はる

豊田初枝

宮内みのり

太田ヒロ子

土井利一

高田文子

北島 溍

今別府文乃

城野けんじ

吉田君代

林 はな

吉富ティ子

互選句 課題「シンプル」 令和四年 九月例会

浦安とみおか川柳会

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|------------------|---------------|-----------------|-------------------|--------------|----------------|------------------|
| 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| しがらみを絶てば気ままに生きられる | シンプルな御洒落美人を際立てる | スキンヘッド理髪代金浮かせとる | 祭りばやし聞くと体が宙に浮き | ふんわりと飾らぬ母の塩むすび | シンプルな名言にある深い意味 | 思うまま生きる楽しさ一人故 | 肩書きを脱いで素顔の心地よさ | 一輪挿し目立たぬように胸を張る | 梅干とおかゆが至福病み上がり | 礼状にありがとうのみ気持ち込め | シンプルな暮らしにさせている年金 | 一輪の花が迎える茶の湯席 | かつと燃えはじけて終わる夏の恋 | 侘びと寂び簡素の中の美しさ | 時と金自由に使う面白さ | 平凡と白いTシャツあればいい | シンプルに生きて人生恙無い |
| 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 |
| | | | | | | | | | | | | 機能過多スマホ操り目を回す | 子の巣立ち妻も一緒に出て行った | スツピンで生きると決めた老いの日日 | 単機能使い易くて丈夫です | 切れ長の古風な一重情緒あり | エゴ捨てて無駄も省いてエコロジー |